

生活を支える下水道

こまつだいしゅう  
小松台小

五年

みつたけ  
光武

みつぎ  
興希

お風呂・洗たく・トイレ・手洗い・歯ぶらし・水遊び・スイミングのプールなど、生活のいろいろな場面でお世話になっっている下水道だか、使っっているという感覚がほとんどない。

もし、何らかのトラブルで下水道のしくみが使えなくなっただとしたらどうなっってしまうのだろうか。

身のまわりのことだと、生活でよごした水を流せなくなる。特にこまるのはトイレだと思う。一日ぐりいはどうにかなると思うが災害等で何日も使えない日が続いたとしたら、トイレをがまんしたり、トイレの回数をへらすために飲んだり食べたりする量をへらし、体に負担をかけて健康を保てなくなるかもしれない。

地いきや、まち全体で下水道のしくみが使えなくなっただとしたら、いたる所で流れこ

けなくなつた雨水や生活はい水があふれたり、  
しよ理場に汚水がたまつたままになつたりし  
て、まぢが不えい生になつて病気が伝がるか  
もしもない。

宮崎市上下水道だよりに、下水道管やマン  
ホールポンプにタオル、くつした、おむつ、  
固ま<sup>つ</sup>た油よごれなどがつまつてい<sup>る</sup>写真が  
のつていた。つまりことごとく汚水がマンホール  
からあふれ出てくるおそれがある、と書かれ  
ていた。

この記事を読んで、こういうものまで下水  
道管に流れるなんて初めて知つておどろいた。  
下水道を大切に使うためにふだんの生活で、  
ぼくが家族が出来ることを考えこみた。下水  
道にいろいろなもの流さないことや、かみ  
の毛が下水道管に流れないようにはい水口に  
あみをかぶせたり、よごした皿をテッシュで  
ふいたり、食用油を古紙にすわせてすてるな  
どだ。

一人一人が出来る事をしていけば下水道の

しくみを守ることにつながるのではないかと思ふ。

毎日使う水道水は、大淀川から取っている。生活でよごした水は、下水管を通して下水処理場できれいにしてから大淀川にもどして出る。

ぼくは今まで下水道を使っている。という感覚をほとんどもっていなかった。だから今からは、下水道はぼくたちの暮らしを支えてくれているのだと意識して、下水道のしくみを管理する人たちにも感謝しながら水を使っていると思う。